



旧木下家別邸

大正元年(1912年)に貿易商の木下建平氏が建てた現存する国内最古のツーバイフォー住宅で、平成24年に国登録有形文化財(建造物)に登録され、景観重要建造物にも指定されました。

長い年月風雨にさらされ、屋根や壁の下見板に腐食があり、建物全体の塗装も汚れと劣化が目立っていたため、約3か月間の外壁等改修工事を行い、色鮮やかな姿に蘇りました。